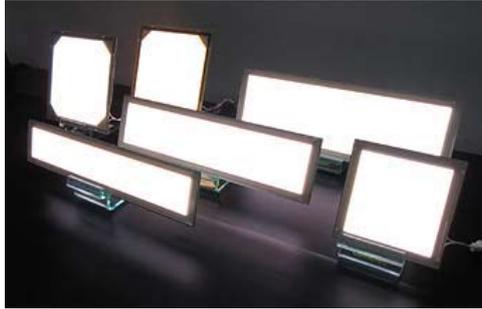


照明用有機ELパネル10タイプを出荷 量産出荷は世界で初めて



照明用有機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）パネル専門のLumiotech（ルミオテック）株式会社（社長・重永久夫、本社：山形県米沢市）は2011年1月から、サイズの異なる有機ELパネル5モデル10タイプの出荷を開始する。顧客が製品に組み込むことを前提に性能保証付きで出荷に踏み切るもので、照明用有機ELパネルの量産出荷は今回が世界で初めて。年間6万枚規模の生産を目指す。

今回投入する照明用有機ELパネルは、正方形2種類、長方（短冊）形3種類で、それぞれに電球色と昼白色の2つの色温度を持つ合計10タイプ。本年2月にサンプル出荷したパネルに比べ、厚みと重量を半分に抑えたのが特長で、コントローラとAC-DCアダプターを除いた145mm角のパネル本体の価格は3万円（税抜き）と、サンプルパネルの半額以下となっている。

今回の有機ELパネルは、量産出荷に先立って、10日にリニューアル・オープンした三菱重工業 本社ビル2階のショールーム「M's Square（エムズスクエア）」において展示中。また、M's Squareでは天井照明の一部にも有機ELパネルが採り入れられており、来場者は環境にやさしい次世代型照明パネルをその場で直に確かめることができる。

Lumiotechは照明用有機ELパネルの事業性検証会社。三菱重工業、ローム、凸版印刷などが出資して2008年5月に発足した世界初の照明用有機ELパネルの専門会社で、これまでトレードオフの関係にあるとされてきた、高輝度化と長寿命化を両立させる素子構造の開発や、材料の利用効率を格段に高めた高速の大型リア蒸発源式インライン成膜装置の実現などを受けて、米沢市に量産ラインを構築、照明用有機ELパネルの開発・製造を進めている。

有機ELパネルは、面発光で極薄・軽量であることや、紫外線を含まず均一でムラのない柔らかい光を実現できること、さらには、水銀など有害物を含まず、省エネ化によるCO₂の削減効果が見込めるなど、白熱球・蛍光管などの従来型光源やLEDにはない優れた特長を持ち、次世代の照明用光源として期待されている。

Lumiotechは、今回の量産出荷などを通して照明用有機ELパネルの事業性を見極め、早期の本格的な量産・販売体制の構築に繋げていく。

製品ラインナップ

	正方形					
外径寸法 (W×L×T) mm	145×145×2.1		97.6×97.6×2.1			
重量 (g)	102		38			
色温度	3,000 (電球色)	5,000 (昼白色)	3,000 (電球色)	5,000 (昼白色)		
	短冊形					
外径寸法 (W×L×T) mm	287×97×2.1		287×74×2.1		287×59.5×2.1	
重量 (g)	133		100		80	
色温度	3,000 (電球色)	5,000 (昼白色)	3,000 (電球色)	5,000 (昼白色)	3,000 (電球色)	5,000 (昼白色)

【問合せ先】

Lumiotech株式会社東京事務所

TEL : 03-5418-6035 / E-mail : lumiotech_info@lumiotech.com

以上